

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月20日

熊本県知事 木村 敬 殿

提出者

住 所 熊本県玉名郡長洲町名石浜25

氏 名 株式会社L I X I L 有明工場

工場長 水道 豪一

電話番号 0968-78-4511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社L I X I L 有明工場
事業場の所在地	熊本県玉名郡長洲町名石浜25
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	金属製品製造業(2842)
②事業の規模	116億円/年(製品出荷額等)
③従業員数	748名(令和7年3月末時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 廃プラ類:発生⇒委託業者へ直接処理委託(中間処理) ・ 汚泥:発生⇒委託業者へ直接処理委託(中間処理) ・ 木屑:発生⇒委託業者へ直接処理委託(中間処理) ・ ガラス屑コンクリート屑及び陶磁器屑:発生⇒委託業者へ直接処理委託(中間処理)



(日本工業規格 A列4番)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	9 3 1 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 汚泥の脱水		
② 計画	【今年度(令和7年度) 目標】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	9 2 2 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 含水率低減活動。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】「別紙2のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】「別紙2のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚 泥	廃プラスチック類	木屑	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排 出 量	970トン	58.53トン	22トン	4.08トン
①現状 これまでに実施した取組	汚泥は表面処理の排水処理工程から排出される汚泥を脱水機（フィルタープレス）により含水率約65%として排出しています。現在、この脱水機の効率維持を重点に活動を進めました。			
	廃プラスチック類については資材購買段階における梱包レス化、業者引き取り等の実施。製造段階においては不良削減、歩留向上等に努める。			
	木屑については資材梱包レス化、業者引き取り等を実施しました。			
	製品のガラスくずとして使用していますが、端材が廃棄物として排出されます。今後更なる歩留向上に努めます。			

【（令和7年度）目標】

産業廃棄物の種類	汚 泥	廃プラスチック類	木屑	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排 出 量	960トン	57.9トン	21.8トン	4.04トン
②計画 今後実施する予定の取組	Bスラッジを乾燥設備で乾燥させ、SDアルミとして有価売却予定。			
	現状の資材購買段階における梱包レス化、業者引き取り等の実施。製造段階においては不良削減、歩留向上等を進める。又、更なる減容化及び再生利用の検討を進める。			
	更なる資材梱包レス化、業者引き取りの実施。又、再生利用を検討し実施する。			
	製品のガラスくずとして使用していますが、端材が廃棄物として排出されます。今後更なる歩留向上に努めます。			

別紙2

廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃プラスチック類	木屑	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	
	全処理委託量	970トン	58.537トン	22トン	4.08トン	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	970トン	58.53トン	22トン	4.08トン	
	再生利用処理業者への 処 理 委 託 量	970トン	58.53トン		4.08トン	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			22トン		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行なう業者への 処 理 委 託 量					
	(これまでに実施した取組)					
	・産業廃棄物を処理業者に委託する場合には、収集運搬から処分に至るまで確認し、的確に管理する。					
	②計画	【（令和7年度）目標】				
産業廃棄物の種類		汚 泥	廃プラスチック類	木屑	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	
全処理委託量		960トン	57.9トン	21.8トン	4.04トン	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		960トン	57.9トン	21.8トン	4.04トン	
再生利用処理業者への 処 理 委 託 量		960トン	57.9トン		4.04トン	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量				21.8トン		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行なう業者への 処 理 委 託 量						
(今後実施する予定の取組)						
・産業廃棄物の優良処理業者・熱回収業者を開拓して行く。						